



若手職員が現場基礎技術研修(II期)で技術力を向上!

平成29年2月1日(水)、日野川河川事務所において、現場基礎技術研修が行われ、鳥取県内3事務所の若手職員12名が受講しました。

まず、午前中に、中国技術事務所の森山総括技術情報管理官による講義(座学)が行われました。

それから、現場実習の対象工事となっている「法勝寺川四ヶ村堰改築工事」の工事概要と現場で確認する事項等の説明が有りました。

午後からは、法勝寺川四ヶ村堰改築工事の工事現場において、座学での課題に対する現地確認(堰の基礎工における場所打ち杭長等)講義で説明のあった施工状況等の確認を行いました。

最後に、事務所に戻り、現場実習ふりかえりとして、研修生からの課題発表及び質疑応答が有りました。

参加者からは「堤防や護岸を整備することは、周辺住民の命や生活を守ることにつながると実感しました。」「品質確保の重要性を感じました。」「設計図書通りの材料を使っているか、基準を満たしているか等、段階的に確認することの重要性を学びました。」といった感想が有りました。

今回の研修を踏まえ、参加者全員が、国土交通省の職員として、今後も引き続き、土木技術力等の研鑽に励むことを改めて認識した次第です。

現場実習



対象工事：法勝寺川四ヶ村堰改築工事

講義(座学)



研修生 合計12名
鳥取河川国道事務所7名、倉吉河川国道事務所3名、日野川河川事務所2名

※現場基礎技術研修とは

中国地方整備局が、若手職員を対象として、主に土木技術力向上のために実施している現場研修のことで、今回は鳥取県内3事務所(鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所)の若手技官を対象に実施された。